

KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭
多胡真佐子

ではないでしょうか。

普段見慣れたものや聞き慣れたものとのそれらの体験とか、ふと頭の中で結びつくとき、私たちの日常において想像力を飛躍させるための隙間を見つけたことができるという舞台の時間。

舞台上に流れる無限とも思える連続するシーンの中に、表現者の緊張の一瞬を見る鼻歌の無限リズムの中に(強制的に)身を置きながら、輪ゴムの一瞬を見る時間。

ターンを見つけたら、あるいは予測し難い旋律の連続に緊張を強いられました。さうち、私たちはそこに無意識に知っているリズムを探し、心地よい音の連なりの中からリズムにリニア再生されます。気が抜けたような「んん、ん〜」の旋律を耳にす松延によって録音された1曲：1分、総数500曲におよぶ鼻歌の中から厳選された60加えて本展では、松延の新作となる音の作品《Humming》を展示します。

「フオーマツス」を見ているといえるかもしれません。舞台上で演じ・踊る、集中力や気力が漲った人間と重ね合わせれば、私たちは「輪ゴムのまた、ねじられ、変形された形から元に戻ろうとするエネルギーを秘めたそれらを、舞個性を持った生物の標本のようにみえてきます。

造体として一瞬の姿を静止させられた輪ゴムは、日用品としての輪ゴムから飛躍し、Band》(2012-)は、手のひらでねじられ、様々な形をなした輪ゴムです。ひとつの構今年度「フエスチバル」のメインテーマとして、松延の作品《Twisted Rubber

家・松延総司(まつのへ・そし / 1988-)による個展を開催します。KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2013の関連イベントとして、美術作

Humming

60/500

2013 1曲=1:00 (全500曲)

*会場内では500曲の中から厳選した60曲を再生しております。
*カウンター iPadよりお好みの曲を試聴・再生いただけます。
また、60曲を収録したCDは1枚 ¥3,000円で予約販売しております。詳しくはスタッフまでお声がけください。

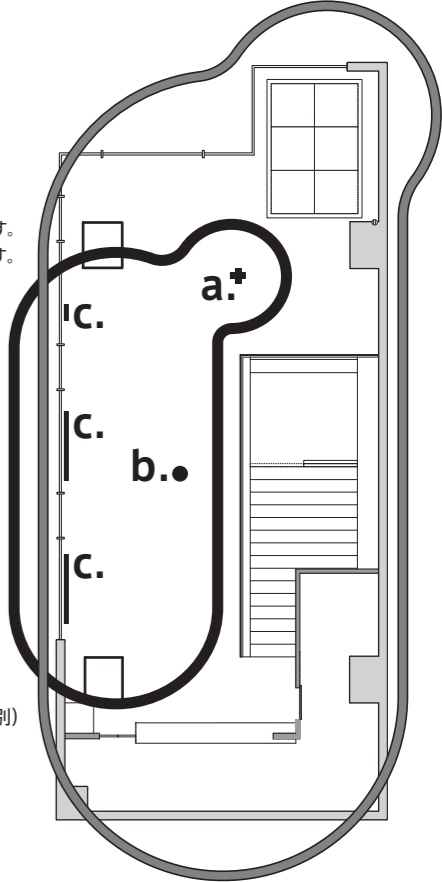
Twisted Rubber Band

2012- 輪ゴム

a. 1peace= ¥70,000 (税・送料別)
4peace+支柱セット= ¥300,000 (税・送料別)

b. ¥850,000 (税・送料別)

c. 非売



KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭2013 関連イベント
【主催】KYOTO EXPERIMENT ー京都国際舞台芸術祭 【協力】Gallery PARC

@ Gallery PARC

2013年9月17日[火]ー9月29日[日] 11:00ー19:00 *会期中無休・入場無料

Twisted Rubber Band / Humming

松延総司展 | Soshi Matsunobe Exhibition

Soshi Matsunobe Exhibition

Twisted Rubber Band / Humming

Statement

多くのものを取り込み、大きな広がりを持つ「視点」を制作している。それは「法則」や「技法」もしくは「素材」のような、物事の基礎となる種類のものである。そしてその「作品」が私の手を離れ社会の中で存在することが目標であるが、それは真実だからでも、利便性の為でもない。私達はそれらを共有することによって、事実か虚実かわからない程大きな「もの」や「こと」を作ることができるからである。

私は世界の成り立ちを手本とし、創造することを追求していきたい。

そのために私は以下の3つの要素を用いて制作を行っている。

- 1、どれだけでも個数を作ることができるもの。しかし、その模様や形は全て違う物。
- 2、多くの物や場所に適応できるもの。繰り返し使うことができる技法や、匿名性を持ったオブジェ。
- 3、どれだけでも拡大縮小可能なもの。

舞台芸術の視点から静止したオブジェを見ると、私達はそれをパフォーマンスと呼ぶことができるだろうか。

Twisted Rubber Band (2012-) は輪っかの形をしたゴムをねじっただけの簡単な作品である。しかしそれらが何かの別のものの形に見えてきたり、並べられて動きのパターンが見えてくるとき、私達の頭の中ではもう一度輪ゴムのイメージ自体がねじれることになる。

Humming (2013-)は形を持たない「音」をモチーフとし、気分次第で偶然作られた1分間の鼻歌をランダムで繋いでいく作品である。輪ゴムと同様に、私達はその中に聞いたことのある曲らしきものを見つれたり、繰り返される音の並びを見つげることができる。そのように他人が歌う鼻歌が自分のものになるとき、音は私達の感情を上下させるだろう。

物と音から構成される「わ(0)」と「ん(-)」の空間を通して、無限に続く輪ゴムと鼻歌のパフォーマンスをお楽しみ頂ければ幸いです。

松延総司

松延総司 Soshi MATSUNOBE

1988年 熊本県生まれ
2008年 京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業
現在、京都市在住

<個展>

2013 棚 | SHELVES [LABORATORY / 京都]
2012 SCHEMA, Kyoto.Köln [Schilling Architekten x Super Window Project / ケルン]
2010 Nissed [ART OSAKA, 堂島ホテル / 大阪]
2010 Direction of Materials [Super Window Project & Gallery / 京都]
2009 Op [立体ギャラリー-射手座 / 京都]
2009 Nissed [立体ギャラリー-射手座 / 京都]

<グループ展>

2013 TERAOKA Kai curated 'How to count infinity' [KUNST ARZT / 京都]
2013 Géométrie Variable [DOMAINE LES CRAYERES / ランス]
2013 ANT! FOTO [Jacobihaus / デュッセルドルフ]
2012 VERLANGSAMTE PERFORMANCE [VAN HORN / デュッセルドルフ]
2012 OPEKTA international [BBK / ケルン]
2011 Art-O-Rama [ACDC x Super Window Project / マルセイユ]
2011 DROP ME! [nitehi works, 若葉町 / 神奈川]
2011 UNE FENETRE JAPONAISE [GALERIE DE MULTIPLES / パリ]
2011 神戸ビエンナーレ2011 高架下アートプロジェクト [神戸市元町高架通り / 兵庫]
2011 A CONVERSATION WITH, MATHIEU MERCIER ABOUT ABSTRACT OBJECTS [MUZZ PROGRAM SPACE / 京都]
2011 岡本太郎現代芸術賞 [岡本太郎美術館 / 神奈川]
2010 Emerging Asian Artists [Art Guwangju, キムデジョンコンベンションセンター / 光州]

